

International Beauty Federation Member's Magazine

Linqwe.

vol. 87

Makeup: Kumiko Kondo
Model: Dania Lechter State Artist Management
Photo: Linda Mason

19th IBF Photo contest 結果発表!

グランプリはECCアーティスト美容専門学校の上田乃愛さんの作品に決定！ Linda Mason賞、MOTOKO賞も同時受賞です！ おめでとうございます！

Grand prix Linda Mason賞 MOTOKO賞



■上田 乃愛 (ECCアーティスト美容専門学校)

タイトル：The Girl

コンセプト：ピンク、イエロー、お花、ハート、ハイヒール… 子供の頃に好きだったようなものをふんだんに取り込み、どんな女の子でも持っている可愛くなりたい!! そんな気持ちを表現しました。

○審査員講評

Everything about this said "fun 60's". Beautifully executed. A soft feminine flower girl done with humor and the perfect flower. Love the orange lip and cheek. Hair and nails are fab too. (Linda Mason)

以前、60年代のファッション雑誌を調べていた時「美容室でヘアカーラーを巻いてドライヤーに入っている女性達」がとても印象に残っていて、カーラーで巻かれているヘアをみて思わず「あ！60年代」と思いました。もちろんヘアだけでなく、メイクもオレンジ系のチーク&口紅、そしてツイギー調、ヒッピー調のアイメイクをイエローでまとめているのがとても60年代要素と繋がり、現代風60年代GIRLに出来上がっています。全体像がとてもまとまっていてメイクのスキルも良いです。コンセプトに子供の頃に好きだったものを集め、誰もが可愛くなりたい願いを表現した結果となっていました。60年代を意識しての上だったのでしょうか？ 60年代からいらした?! 笑

(MOTOKO)

IBFと提携団体による、サブスク制オンラインスクール「あたらしい学び場」はIBF会員（国際メイクアップアーティスト会員）様への、会員サービスの一環として、月額2,980円の利用料を全額免除し、無料で利用できます。ぜひご利用ください。

※IBF会員の方であたらしい学び場のログイン情報がわからない方はお手数ですが、IBFまでお問合せください。(info@ibf.or.jp)

さて、IBFメイクアップフォトコンテストの結果発表です。今回のテーマは「Hooked on '60」～60年代に首ったけ～」年代別のメイクアップはどうしても似たようなテイストの作品が多くなりますが、その中でもユニークな発想、メイクアップの技術、写真としての完成度の高さを評価させていただき、各審査員も独自の視点で熱心に審査いただきグランプリ、その他各賞受賞作品を選定しました。応募いただいた全員に感謝申し上げます。そして受賞者の皆様おめでとうございます！

2025年、第20回のIBFフォトコンテストテーマも発表になっています！ 本誌P14～15を参照してください。2025年のテーマは「Avant-Garde」（アヴァンギャルド）です。ビューティメイクとは一味違うインパクト大の作品をお送りください。

たくさんのご応募お待ちしております！

各賞受賞作品

【M・A・C賞】

■高瀬 葵（資生堂美容技術専門学校）

タイトル：Rouge

コンセプト：60年代といえばカラフルでレトロポップというイメージが強いですが、その中でも私は60年代のポップさもいれつつ60年代の女優をイメージし、シックかつレトロさを自分なりに表現しました。また今回の作品では鼻ピアスや眉毛無しなど現代のスタイルとも掛け合わせました。

○審査員講評

眉消しのクオリティが高く、カラーを引き立てる効果も出ています。目元にもREDカラーを入れることにより、全体的なカラーバランスが整っている作品です。

（M・A・C 塩野 僚子）



【ケサランパサラン賞】

■児玉 美純（資生堂美容技術専門学校）

タイトル：STAND

コンセプト：白黒の世界に少しずつ色味が加わり始めると共に、女性たちが力強く声をあげ、ファッション、メイク、音楽と様々な自由を追い求めた60's。そんな背景を現代に落とし込み、性別やアイデンティティの解放へ。あらゆる視線は、わたしをわたしたらしめるエネルギーとなる。

○審査員講評

写真全体から60年代の空気感が漂う、こだわりがしっかり感じられる作品ですね。モデルの骨格を捉えられたアイブロウラインやシェーディングシャドー、60年代を象徴するダブルライン、ボトムに描いたまつげや形、ポイントを引き立たせる丁寧に作られたベースメイク、どこをとっても素晴らしかったです。

（ケサランパサラン 森元 亜希子）





【特別賞】

■森田 美羽 (資生堂美容技術専門学校)

タイトル：60's Diner

コンセプト：60年代のアメリカンダイナーをテーマにキュートポップな感じにしました。

アメリカンダイナーの特徴として、壁や床の市松模様が挙げられるので、顔の中心に目立つように描いたり、ヘアにも白色を編み込んで市松模様に見えるようにし、前髪はくせっ毛を表現するためにあえて無造作な感じにしました。また60年代のボリュームーなアップヘアやツイッギーメイクを取り入れ、全体の色味はダイナーの店内をイメージして赤、白、ピンク、ティファニーブルーで統一しました。

○審査員講評

Soft and fun with a wonderful touch of creativity given with the pattern across the face. As the eye was not too strong, yet still reflected the 60's, with the turquoise shadow and white pencil in the eye. The combination made the makeup very wearable today too.
(Linda Mason)

Diner (ダイナー) は60年代アメリカでとても人気があったカフェ、レストランでした。(もちろん今も健在ですが60年代に比べ、断然少なくなっていると思います) なのでダイナーは60年代の代表と言っても過言ではないのではないのでしょうか? そのダイナーイメージをとっても可愛く、素敵に表現出来ていると思いました。コンセプト通り!! 目の青♥色も60年代風ブルーで顔を横断する市松模様のテープメイクは作品のイメージにアクセントを加えアーティストックにしています。コンセプトに書かれてあるように、ダイナー店内では床フロアが市松模様の場合が多いですが、多くの場合白黒です。それを薄赤白にしているのも全体像を明るくイメージにしています。ヘアも60年代風大きめのトップにして、小物にダイヤル電話があるのも(それも黒でなくピンク!) 60年代イメージ強化に繋がっていると思いました。(MOTOKO)

【60's賞 by MOTOKO】

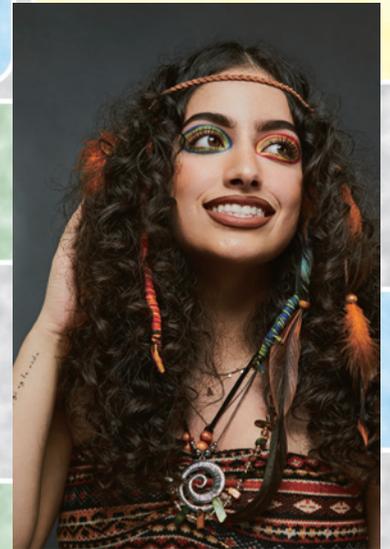
■黒川 璃音 (資生堂美容技術専門学校)

タイトル：LOVE & PEACE

コンセプト：60年代というテーマで私が思い浮かべたのは、ヒッピーの人々です。価値観に縛られることなく愛と平和を求め、自由に生きるヒッピーの生活観をイメージして作品を作りました。こだわったポイントは、目の周りをカラフルな色で囲ったところです。目の形に合わせ少しづつに囲むことで、偏った価値観に縛られないヒッピーの人々の意思を表現しました。

○審査員講評

An ethnique feel was strong in the 60's and this captures the spirit without losing the fun light aspect so important to keep in a 60's theme. I love the different colored eyes and the makeup is well executed.
(Linda Mason)



60年代ヒッピー族。これぞまさしく60年代ですね。好きです! コンセプトに書かれていたヒッピーの枠に囚われない自由な生き方を追求したライフスタイルを少し歪んだ丸のラインで目の周りを囲むことで表されていますが、とても想像力があってアートです。カーリーヘアも60年代そのもの。現代は真っ直ぐ伸ばすヘアが綺麗な象徴になっていますがこの時代は本当にナチュラルで自由だったのかなと想像します。(MOTOKO)

【Unique賞 by MOTOKO】

■三宅 和花 (ECCアーティスト美容専門学校)

タイトル：カラーテレビ

コンセプト：60年代の流行りが今現在もこれから先も流行っていたらと想像して作成しました。60年代からカラーテレビも普及されそれを彷彿させるような撮り方にもこだわりました。

○審査員講評

すごく面白いのですが、どうやってこの世界観が作られたのでしょうか?! アートです。確かにカラーテレビは60年代に普及し始めました。ライティングと写真の撮り方にもよるのですが、顔の肌部分を白黒時代の名残として表していますよね?!

肌は遠くから見ると白黒テレビの映りのようになってるような?! そこに色のあるメイクをしてカラーテレビ時代へのシフトとして表現している、と解釈しています。そうかな? 考えすぎ? バックの黒と円形ライティング部分も白黒時代で、そこからポップなピンクジャケットがカラーテレビの誕生を強くイメージしていますよね?! 私には絶対思いつかない表現方法です。素晴らしいです!(MOTOKO)

---IBF賞---

■金城 璃子 (沖縄ビューティー&ブライダル専門学校)

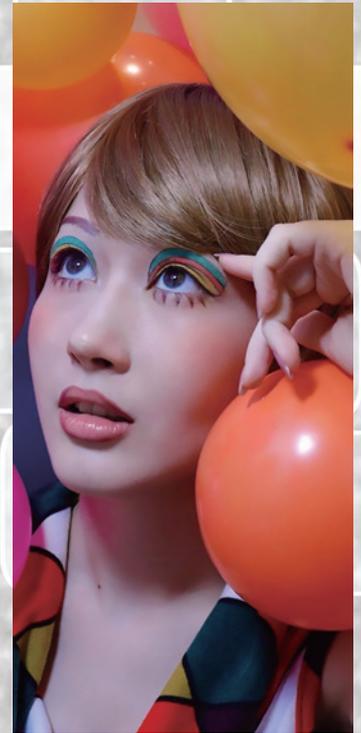
タイトル：release

コンセプト：「女性解放運動」、「同性愛者解放運動」など人々が自由を求めて行動し、様々なしがらみから解放されるきっかけとなった60年代の時代を表しました。背景の風船で、解放される“うれしさ”を、ポップなアイメイクで前向きに進む人間の“エネルギー”を、下まつげで“女性としての芯の強さ”を表現しました。

○審査員講評

Love the fact that brown liner was used and the eye had a downward slope, this makes it very 60' s and also very wearable today. Very pretty. (Linda Mason)

女性解放を願い戦った60年代。上前方に目線向け、新しい時代の幕開けを表しているのでしょうか。コンセプトの思いは目の濃いグリーン、レッド&イエローに60年代の女性の強さ、警笛、過酷さを表しているのかなと想像しています。それと同時にアイシャドウの形を60年代風roundにシェーブして下まつ毛をツイギー風プラス60年代風カラーの風船とレトロなスカーフで全体像をコンセプトの世界観に繋げているのがステキです。 (MOTOKO)



■横田 優乃 (ECCアーティスト美容専門学校)

タイトル：フラワーポップ

コンセプト：1960年代の代表的なツイギーやカラフルでキュートなイメージをぎゅっと詰め込んだ作品を撮りたいと思い制作いたしました。

○審査員講評

テーマのHooke onがたくさん詰まったとても楽しい作品になりましたね。多彩なカラーで彩られた華やかなメイクが際立っていてインパクトがありました。その中でも目尻のアートが微妙に形が違うけどシンメトリーに見えつつ動きがあるバランスなどがテクニックを感じました。ウィッグもかぶせただけでなく、色も変えてアレンジされていてかわいかったです。

(ケサランパサラン 森元 亜希子)

■星谷 咲穂 (資生堂美容技術専門学校)

タイトル：individuality

コンセプト：自分らしく、美しくをテーマに60年代のアメリカのオシャレが好きな女性をイメージしました。作品名の「individuality」は英語で個性、自分らしさという意味です。60年代はアップスタイルのお団子のイメージが強かったので、お団子の周りにクルクルの髪の毛をつけて自分らしく表現しました。また細い眉毛と、濃い下まつげで、より60年代のメイクに近づけました。

○審査員講評

カラフルに見えつつもアイホールを縁取ったリボンやコスチュームと統一したグリーンのラインが際立っていてとても素敵です。アイブロウも自然につぶすのは簡単なことではないので、技術の高さが感じられます。ヘアスタイルもボリュームを出すバランスや丁寧に作られたカールが綺麗でとても素晴らしい作品でした。 (ケサランパサラン 森元 亜希子)



Finalists

ここからは最終選考に進んだ作品をすべてご紹介します！



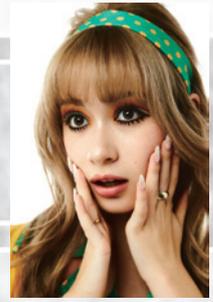
■蘭 珠羽
(資生堂美容技術専門学校)
【POP flower】



■井 綾香
(資生堂美容技術専門学校)
【living doll】



■DING YI
(大阪モード学園)
【Glimmering】



■木村 紗菜
(資生堂美容技術専門学校)
【My longing】



■太田 成
(資生堂美容技術専門学校)
【scarf lady】



■渡邊 真衣
(学生)
【Rebel Stardust】



■福井 愛唯
(ECCアーティスト美容専門学校)
【PINK KAWAII】



■渡邊 美優
(福岡ビジネス・アカデミー)
【標本の記憶：60's Illusion】



■古堅 麻衣奈
(沖縄ビューティー&ブライダル専門学校)
【モダンノスタルジア】



■七野 花音
(資生堂美容技術専門学校)
【Stuggles Girl】



■伊藤 英玲奈
(資生堂美容技術専門学校)
【advancement】



■藤村 花音
(大村美容ファッション専門学校)
【City girl】



■伊是名 瑠々
(沖縄ビューティー&ブライダル専門学校)
【colorful rich】



■高尾 真由香
(福岡ビジネス・アカデミー)
【Combines】



■眞井 絵理
(東京モード学園)
【ヴィンテージ・ルミナス】



■加藤 愛和
(名古屋モード学園)
【60's グルーヴィー】

たくさんの素敵な作品をご応募いただきありがとうございました！次回IBFフォトコンテストは2025年11月末締め切りです。本誌P14-15でテーマを発表していますのでご覧ください！2025年もたくさんのご応募お待ちしております！

香咲 弥須子 Profile

IBF理事。New York在住スピリチュアルカウンセラー。
NY DownTownにてヒーリングクラス及びカウンセリングセンターを経営。
作家、翻訳家、エッセイストとしても活躍している。

世代間の関係性と子育て問題について

わたしが日本からニューヨークに来たのは37年前になります
が、当時は英語がからきしダメで、日本では毎日立ち寄りな
ければ気が済まないほど本屋が好きだったのに、こちらでは本屋の
中のわたしは文盲同然でした。テレビをつければニュースキャ
スターが興奮した表情で何かを訴えるようにしゃべりまくっている
のですが、わたしには、何が起こったのかさっぱりわかりません。

そんなわたしの英語学習には、いくつかの道があったのですが、
その一つが、テレビのホームドラマでした。Thirty Something
という大ヒットの連続ドラマは、日本でも一部NHKの深夜に放
送されたそうですが、わたしはそれにハマり、五、六年は毎日観
たと思います。(五、六年も？毎日？そんなんです。しかも日
に二回観る日も多くありました。別チャンネルで別のシーズン・
エピソードをやっていたりするのですね。)アメリカでは、ヒット
した番組は、あちこちのチャンネルで繰り返し放映されている
のです。「名犬ラッシー」は幼少時代に日本で観ていましたが、
1990年代のアメリカでも放送していました)。

Thirty Somethingは、30代の男女の結婚や離婚、子育て、病、
失業、等々のさまざまな状況を超えて友情が続いていくストー
リーで、交わされる会話は、いわゆる“日常生活の中の日常英語”
です。わたしは登場人物の誰もが好きで、同じエピソードを何度
観ても飽きなかったので、会話も自然に覚えていきました(わた
しは、覚えが早い方ではないのです。そのわたしでも覚えてしま
うくらい繰り返し観たということです)。

そして、会話を覚えるということは、英語の語法や単語を覚
えるというよりも、「こういう時にはこういうやり取りができる
のか」という、日本社会での日本語会話にはない、English
speakers,あるいはAmerican English speakersのコミュニ
ケートの仕方を知ることだったのです。

言葉というのは関係性を築くためのものですから、日本にはな
かった関係性のあり方を知り、わたしはそのことに夢中になっ
たというわけでした。

そのヒット作品の中心人物が、俳優、監督、プロデューサーの
Ken Olinで、彼は最近ではThis is Usのプロデュースなど70代
に入っても現役で活躍中ですが、彼のプロデュース作品に、“幻
の”ドラマThe Relationがあります。幻になってしまったのは、
いくつかの理由で途中で放映中止になったからなのですが、そこ
でもわたしは、新しい「関係性」のあり方を知りました。

婚約中の若者がいて、女性の方が、結婚前に一人旅をしたい、
と言って、ヨーロッパをバックパックで巡るのです。そこで恋に
堕ちます。アメリカに戻った彼女に、新しい出会いを打ち明けら
れ、婚約を破棄された青年は、彼女の両親宅を訪れ、

「残念ながら、僕たちは結婚しないことになりました」

と、報告。

すると、女性の母親は、「Oh!なんて悲しい知らせなの！」
と驚き、彼を抱きしめるのです。

「これは彼女から返された婚約指輪です」

と、青年。

「僕が持っていてもしょうがないし、売る気にも捨てる気にも
なれない。どうかあなたの指にはめてください」

と、ダイヤの煌めく指輪を渡します。それを拒まず受け取り、
再度ハグする母親。

「これから先のあなたの人生の幸運を祈るわ」

「ありがとうございます。あなたとの出会いは忘れません」と答える青年。

どうでしょうか。このような会話は日本であり得るでしょうか。
「ええっ？母親は娘の非を伏して詫げることをしないのか!？」と、
思わないでしょうか。

世代ごとに、人生はある。

それが、こちらの基本的考え方です。たとえ家族でも、親には
親の、子には子の人生があり、助け合うことはあっても、介入は
しないのです。

日本では、ワンオペという言葉があり、実際、ワンオペは至る
ところにあります。帰国するたび、わたしがいちばん心打たれ、「彼
女たちに幸がありますよう！」と心底祈らずにいられないのが、
夕刻7時前後の“ママチャリ”風景なのですが、職場から駆け戻
ったママたちが、保育園から一人か二人、時には三人の子供を乗
せて自転車を目一杯の力が漕ぐ、漕ぐ……。家に着いたら、食事を
させ、お風呂に入れ、もしかしたら宿題も見てやり、そして寝か
しつける、ということをする。

いえ、おじいちゃんとおばあちゃんが手伝ってくれるのかもし
れませんが、夫も急いで帰宅して家事に参加するのかもしれない。
それにしても、です。

ニューヨークの知人たちは誰もが言うのです。

「夫と分担しなかったら、子供なんてとてもじゃないけど育て
られないだろう」

こちらでは、祖父母に頼るということはありません。祖父母に
は祖父母の人生がある。その子供たちの世代には別の人生がある。
そのあたりはきちりしています。もちろんその間には愛情が、
無条件の愛情があるけれど、子育てで頼るなどということはない
のです。

もちろんここに書いていることは全員に当てはまることではな
いだろうと思います。日本も変化し、社会制度もわずかずつでも
母親支援の方向に動いているかもしれません。アメリカも、逆に
日本を見習い世代を超えた助け合いが生まれてきているかもしれ
ません。

でも、親には頼れないし、頼らない方がいいのだ、という土台
に立ち、その目でキャリアを含む自分の人生を見渡すならば、ど
こで、何に対して立ち上がるべきかがピンポイントで明確になる
のではないのでしょうか。子供たちを育むこと、その両親の人生を
支えることは、最も重要なことの一つに違いありません。

■IBF会報誌Linque.は次号からPDF版で発行します。

IBF会員の方は必ず本誌P2の会報誌発行についてのお知らせをご覧ください。また、会報誌発行のお知らせなどはメールで送信させていただきますので、IBFからのメールを確実に受信できるように必要な方は以下から会員情報の再登録をお願いいたします。

■IBF会員情報再登録のお願い

IBF正会員の方、NYMA受講生の方で、IBFからメールマガジン（月間1～2通配信）が届いていない方は正しいメールアドレスが登録されていません。IBFでは、重要事項も含めて、メールでお知らせする方法に切り替えておりますので、IBF会員の皆様には正しいメールアドレスの登録、再登録をお願いしております。大変お手数ですが、該当者（IBFからメールマガジンが届いていない方）は以下のフォームよりメールアドレス登録の更新をお願いいたします。

《メールアドレス登録（再登録）フォーム》https://www.ibf.or.jp/update_mail_address/

※アップル社ドメイン「icloud.com」をお使いの方へ

アップル社のセキュリティの都合でメールマガジンなどが届きにくい現象が続いています。「icloud」以外のメールアドレスまたはGmail.comなどフリーのメールアカウントを取得してそちらのアドレスで再登録していただきますようお願いいたします。



登録フォーム

■N-001 【オンライン】メイクアップ講座オンラインスクーリング

Zoomを使ったオンラインスクーリング。講師と一緒にベースメイクから始めてフルメイクまでレッスンします。認定試験重要課題のうち今回は「ウェディング」をテーマに、セルフメイクで行います。講師によるチェック&アドバイス、質疑応答もできます。講師と実際に対話しながら進行しますので、レッスン上の不安解消、疑問点の解消に、ぜひご参加ください。カメラ/マイク付きのPCまたはスマートフォン、タブレット端末とWi-Fiなどネット環境があればどこからでも参加可能です。

※セルフメイクで行います。メイクを落とした状態で参加してください。

定員：6名まで

参加費：3,850円（税込）

申込：IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。

開催日時：

2025年6月24日（火）10:00～12:00 ウェディング

※120分（質疑応答含む）

※参加時必要なもの、参加方法など詳細はお申込みの方にお知らせします。

※カメラマイク付きPCまたはスマートフォン、タブレットなどと常時接続可能な回線環境。



■N-002 【会場開催】メイクアップ講座スクーリング

今回は東京会場で行います。「ウェディングメイク」のレッスンを行います。講師から直接指導を受けられるので、在宅でのレッスンに不安がある方にもオススメ。ベースメイク・アイメイク・リップ・チークの各パーツをテーマに沿ってレッスンします。各参加者のレベルに合わせた指導が可能ですので、レッスンを始めたばかりの方もご参加いただけます。※ホームスタディコース受講中の方は、どなたでも参加いただけます。

持参物：N.Y.Make-up Academyオリジナルテキスト・筆記用具・レッスン用化粧品一式・コットン・ティッシュ・綿棒等。

※参加申込者には改めて詳細をお送りします。

申込：IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。

申込受付期間：～開催日の2週間前まで受付。

※最少催行人数3名。定員になり次第締め切ります。

開催予定地・日程：東京2025年6月19日（木）13:00～17:30

定員：6名

参加費：7,150円（税込）

参加資格：直轄校NYMAホームスタディコース受講生のみ。

※申込者が3名に満たない場合は開催中止となりますのでご了承ください。

※男性受講生は女性モデルを同伴してください。（必須）



◆◆◆スクーリングのお申込みはIBFビューティプロショップからチケットをご購入ください。◆◆◆

<https://www.ibf-shop.com/view/category/ct7>

IBFビューティプロショップ



■スクーリングのお問い合わせ

NYMA指導部 TEL：03-5928-0130（受付時間／平日9:30～18:00）customer@nyma.jp

■IBF国際美容連盟認定 第89回 国際メイクアップアーティスト試験
第59回国際メイクアップアーティストインストラクター資格認定試験のご案内

2025年4月受験 在宅試験実施要項

受験資格：2025年3月31現在、IBFが指定する各スクール所定のカリキュラムを修了し、修了証書を有している者。

願書配布：2025年3月1日から配布。受験対象者にはスクール指導部から送付します。お手元に届かない場合はIBFへ直接請求してください。

受験料：国際メイクアップアーティスト11,000円（税込）
インストラクター 16,500円（税込）

受験料振込先：三井住友銀行 池袋東口支店 普通預金 8780470
口座名：IBF代表坂入洋平

振込期間：2025年3月31日（月）まで

願書提出期限：2025年3月31日（月）〈当日消印有効〉

願書提出先：〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9 今井ビル5F
国際美容連盟 試験審査委員会 宛

試験問題発送日：2025年4月14日（月）

解答用紙の提出期限：2025年5月5日（月）〈当日消印有効〉
試験科目：実技／筆記（実技試験にはモデルが必要になります）

合否発表：2025年5月26日（月）（郵送予定）

登録期間：合否通知到着後～2025年6月16日（月）
※合格後の手続きになります。

登録料及び年会費：

国際メイクアップアーティスト：登録料…33,000円（税込）

年会費…13,200円（税込）

インストラクター：登録料…16,500円（税込）

年会費…13,200円（税込）

※既にIBF正会員の方は年会費を重複していただくことはありません。

認定証発送：2025年7月8日（火）予定

願書請求・お問合せ先：IBF国際美容連盟 03-5928-3800（代）
（受付時間／平日9:30～18:00）

■IB-001 【オンライン】Linda Mason Live Performance 2025 “Fashion Legend” 2days

2年ぶりとなるLinda Masonのオンラインセミナー。今回はLinda自身ともつながりのある2人のファッションレジェンドを取り上げます。1980年代からファッション界のトップを走り、今なお輝き続けるまさにレジェンド。コム・デ・ギャルソンの創業者、Rei Kawakuboとファッション界の異端児John Gallianoからのインスピレーション。Lindaは1980年代にこの二人のコレクションなどで実際にメイクアップを担当しています！ Linda Masonがこの二人のレジェンドからのインスピレーションをどのように表現するか？とても楽しみです。両日ともアーカイブ配信を予定しています。当日参加できない方でも後日セミナーを視聴いただくことが可能。
※セミナーには日本語通訳が入ります。

Day1：2025/3/30 Sun. 9:00～11:00

“Avant Gard-Rei Kawakubo Inspiration”

Day2：2025/4/13 Sun. 9:00～11:00

“But I like Galliano-John Galliano Inspiration”

日程：Day1 2025年3月30日（日）9:00～11:00

Day2 2025年4月13日（日）9:00～11:00

費用：IBF正会員15,400円 受講生17,600円

一般22,000円（税込）

講師：Linda Mason（メイクアップアーティスト）

申込：IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。

【講師プロフィール】

現代メイクアップ文化を作り上げた世界的な巨匠のひとり。NY在住メイクアップアーティスト／NYにて“The Art of Beauty by Linda Mason”主宰／IBF理事、70年代、ヘレナ・ルビンスタインのアーティストとして活躍し、80年代、イッセイ・ミヤケ、コム・デ・ギャルソン、ジャン・ポール・ゴルチエ、ジョン・ガリアーノなどのランウェイメイクを担当。リクエストのあるNY著名人はキャメロン・ディアス、ナオミ・キャンベル、ユマ・サーマン、シャーリーズ・セロンなど後をたたない。ボビー・ブラウン氏へもメイクアップスキルを教えた重鎮。さらにボディーパーフェクティングなどアートにも才能を発揮し、北野武・井上陽水・松任谷由実など日本人アーティストも多数手がける。



■IB-002 【会場開催】MOTOKO来日セミナー MOTOKO流ビューティメイクアップセミナー

エミー賞（デイトタイムエミー）のメイクアップ部門2021、2022年と2年連続受賞したハリウッドで活躍中のメイクアップアーティストMOTOKOが今年も来日！1日限りのセミナーを開催します！今回のテーマはズバリ「ビューティメイクアップ」MOTOKOが最も得意とする分野です。人をより魅力的に、より美しくするというメイクアップの原典。コントゥアリング、ベースメイク、アイブロウ、アイメイク、チーク、リップと各工程ごとに、MOTOKO流とも呼べるこだわりがあり、そのテクニックを参加者の皆さんとシェアするセミナーです。参加者の方全員に「MOTOKOならこうする」というメイクアップ方法をお伝えし、そのメイクアップを皆さんがセルフメイクで実践するという流れ。普段のメイクとは一味も二味も違うメイクアップの気付きがあるはず。ぜひ皆様ご参加ください！

日程：2025年5月11日（日）13:00～16:00

費用：IBF正会員11,000円 受講生14,300円

一般16,500円（税込）

講師：MOTOKO（メイクアップアーティスト）

申込：IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。

【講師プロフィール】

ハリウッドセレブを中心に、映画・テレビ・広告などで幅広く活動を続けるメイクアップアーティスト。過去には、マライア・キャリーのプライベート時のメイクを6年間担当、チャン・ツイイーとはアカデミー賞・ゴールデングローブ賞のレッドカーペットを筆頭に様々な仕事を共にする。アン・ハサウェイとは日本の「プラダを着た悪魔」のプレスで仕事をし、ほかに多くの黒人女優のメイクを担当する。2020年にはGuild Awardsを受賞。2021年、2022年とエミー賞メイクアップ部門連続受賞。



◆◆◆セミナーのお申込みはIBFビューティプロショップからチケットをご購入ください。◆◆◆
<https://www.ibf-shop.com/view/category/ct7>



IBFビューティプロショップ

■年会費口座振替のご案内

【重要】IBF国際メイクアップアーティスト正会員年会費の口座振替の事前ご案内（郵送）は控えさせていただいておりますのでご了承ください。IBFの年会費13,200円は毎年1回、会員登録時にご提出いただいた口座振替依頼書記載のご指定口座からIBFが指定した月（5月／8月／11月／2月のいずれか1回）に自動振替させていただいております。指定月の27日（27日が金融機関休業日の場合は翌営業日）に振替させていただきますので、前日までに口座残高の確認をお願いします。

※今回は正会員番号の上7桁が1000005又は上4桁が1005の方が対象となります。振替日は2025/5/27（火）になりますので5/26（月）迄に残高確認をお願いします。

※振替完了通知は行っておりませんので予めご了承ください。

■IBF国際美容連盟のオフィシャルSNS等のご案内

お得なキャンペーン、セミナー告知など様々な情報をいち早く配信しています。ぜひフォローして最新情報をチェックしてください！



【Instagram】
IBF : ibf_insta
NYMA : nyma_make



【X】(旧Twitter)
IBF : ibf_japan
NYMA : nyma_make



【Facebook】
IBF : ibfjapan
NYMA : nymamake



【LINE】
@nyma



【BLOG】
<http://ameblo.jp/nyma-make/>



【YouTube】
NymaJp77

■求人情報

求人情報をIBF国際美容連盟ホームページで公開しております。

URL <https://www.ibf.or.jp/recruit/>

より多くの求人情報を公開できるよう、求人企業様との窓口を変更し、随時公開しています。現在までに公開した求人情報提供企業様の一例です。（現在募集終了しているものもありますのでウェブサイトでご確認ください。）

（順不同）M・A・C / BOBBI BROWN / エスティローダー / RMK / ADDICTION / JILLSTUART / ポール & ジョー ボーテ / shu uemura / ランコム / そごう・西武 / 高島屋 / 三越伊勢丹 / ファンケル / オルビス / ちふれ化粧品 / アトリエはるか / ケサランパサラン / カバーマーク / Dior / ジバンシイ / THE BODY SHOP
※求人情報一覧にはパスワード入力が必要な情報も含まれますので、以下のID及びパスワードを入力の上、ご覧ください。



IBF求人情報

ユーザーID : user パスワード : ibfjob

Photo shoot for grand-prix winner



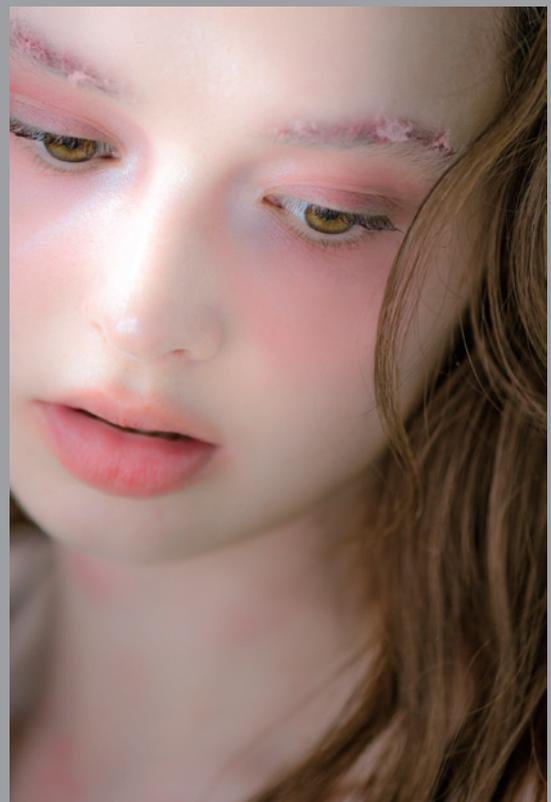
第19回IBFフォトコンテストで見事グランプリを受賞された上田乃愛さんに、グランプリ副賞としてIBFからフォトshootをプレゼント。撮影スタジオ、外国人モデル、フォトグラファーを用意して、ヘアメイク作品を撮影できるという企画です。この日の主演はもちろんメイクアップアーティストである上田さん。仕事でも授業でも無く、とにかく楽しんで作品撮りをしていただくのが目的です。

上田さんから事前にいただいた、作品コンセプトは2つ。撮影の角度や背景、構図のポイントなどをわかりやすく整理したシートを作っていただき、フォトグラファーとも事前に共有していたので、撮影はとてもスムーズに進行できました。



一つ目の作品のテーマは「蝶」。暗闇で光を放つ蝶をイメージした作品で、アイメイクにフォーカスしたもので、上田さんがこだわったのは照明のセッティング。カメラテストでは「もう少し明るくなりますか？」などとセッティングのリクエストをしていました。ここで一度モニタでよく確認してメイクを修正し、撮影本番。モデルのLizaさんもとてもよい表情を作って、一つ目の撮影は終了。

Butterfly



二つ目の作品は、雰囲気を変えて、白背景で、明るめの写真。大胆なつけまつ毛を加えて、モードっぽい作品。テーマは「Strong」。無造作なヘア、強めのアイメイク「Vogueみたいな」作品にしたいとのこと。画角は上からも撮り、風を使って動きのあるヘアにもトライしたいと希望されたので、ブロワーを用意。こちらの作品もとても素敵です。

最後にモデルさんと2ショットで記念撮影をして、フォトshootは終了です。

上田さん、お疲れ様でした！IBFのフォトコンテストは2025年で20回目となります。テーマは本誌P14~15で発表していますので、今年もたくさんのご応募お待ちしております。グランプリ受賞者には次回もフォトshootをプレゼントします。



Strong



最後に上田乃愛さんからグランプリ受賞コメントとフォトshoot終了後のコメントをいただきましたので、ご覧ください。

■コンテストグランプリ受賞コメント

初めての個人でのコンテスト受賞が、グランプリという素敵な賞で飾ることができ本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。Linda Masonさん、MOTOKOさんをはじめ、IBF関係者の皆さま、作品に関わってくださった全ての先生方に感謝の気持ちを伝えたいです。2024年の夏を共に過ごしたこの作品の制作期間は、楽しいことだけではなく大変なこと、辛いことも沢山ありましたが、その全てがグランプリという成果に繋がったことを喜びに感じています。今後もこの初心の気持ちを忘れず、ひとつひとつの作品に心をこめて真剣に向き合っていきます。

■フォトshootコメント

まずはこの撮影に携わってくださった皆さま、本当にありがとうございました！東京という私にとっての夢の地で撮影をさせていただけたことを嬉しく思います。テーマの違う2作品を撮っていただき、どちらの作品も少しの“違和感”を感じるそんな作品に仕上げました。受賞作品とはまた雰囲気の違う作品ですが、今の私が好きな世界観を作ることができ、楽しい作品撮影でした。



the 20th IBF makeup photo contest 2025

第20回 IBFフォトコンテスト概要

主催：IBF国際美容連盟
協賛：大手化粧品ブランド様にご協賛いただく予定です。
審査員：Linda Mason、Motoko Honjo Clayton他
締切：2025年11月30日（日）必着
発表：結果発表は2026年2月末日発行の会報誌で公表。
賞品：グランプリ1名（フォトセッションご招待）、その他化粧品など豪華賞品を予定しています。ジョイタス株式会社様より副賞としてクリスタル記念品も贈呈します。
※応募作品はすべてデジタルデータで送っていただきます。紙焼き、プリントしたものは受け付けませんのでご注意ください。



makeup by Linda Mason

2025年、第20回 IBFフォトコンテストのテーマを発表します！

【Avant-Garde】アヴァンギャルド

元々はフランス語の軍事用語ですが、「最先端に立つ人」、芸術などの分野では、「革新的な試み」や「実験的なアプローチ」を指す言葉です。

今回は「Avant-Garde」なメイクアップに挑戦してください。



makeup by Linda Mason

さまざまな分野で「アヴァンギャルド」と呼ばれる作品や手法がありますが、実は審査員でもあるLinda Masonもアヴァンギャルドと言って差し支えないメイクアップで有名です。Lindaもよく「Experiment（実験）」という言葉セミナーや授業で使いますが、まさに「実験的」な試みがイコール、アヴァンギャルドと思っています。応募される方はぜひAvant-Gardeについていろいろと調べてみてください。例えばファッションの世界でAvant Gardeと称されるデザイナーを挙げてみましょう。



makeup by Linda Mason



N.Y. Photo shoot tourより

Rick Owens
Thierry Mugler
Yohji Yamamoto
Rei Kawakubo Comme
Des Garçons
Vivienne Westwood
Issey Miyake
Alexander McQueen
Martin Margiela
Jean Paul Gaultier
John Galliano

Avant-Garde



N.Y. Photo shoot tourより

彼らの生み出すファッション、特にパリコレなどで見せるステージは、まさに「先鋭的」「革新的」「前衛」であり「Avant Garde」。

今回のIBFフォトコンテストでは、メイクアップで表現していただきますので、いわゆる「ビューティメイク」とは一線を画したものになると思います。

アシンメトリーだったり、輪郭をあえて崩したり、色使いなどでも表現できるかもしれません。

そして意識していただきたいのが、ただ「奇抜」なだけではNGということ。

トータルで見たときに「美しい」「かっこいい」と思えるような作品になっていることが重要。

このページで紹介しているのはLindaの作品、ニューヨークでのフォトshootの作品、そして、過去のIBFフォトコンテスト応募作品からインパクト大な作品です。

いずれも「Avant-Garde」な作品ですね。

今年もLinda Mason、エミー賞2年連続受賞のMOTOKOさんが審査員に加わっていただきました！二人とも皆さんからの作品を楽しみにしています！

詳しい応募要項などはWebサイトなどで随時発表します。



● 応募時の注意事項：

- デジタルデータで応募いただきます。
データ形式はJPEGのみです。「.jpg」「.jpeg」に変換してご応募ください。
- 生成AIなどを使った作品は審査対象となりません。
- 画像処理ソフトによる極端な加工が認められた場合、審査対象から外すことがあります。
- 応募作品の返却はできません。
- 応募作品はIBF会報誌、ホームページ、その他一般媒体で公開することがあります。
- 作品の著作権は撮影者に帰属しますが、作品を上記に使用する権利は主催者が所有し、応募者は、無償でこれを許諾するものとします。被写体の肖像権の問題、または作品に第三者の許諾が必要になる場合などの責任はすべて応募者が負うものとします。
- 肖像権その他の権利上の紛争が起きた場合、その費用も含めすべての責任は応募者が負うものとします。
- 他のコンテストなどに重複応募した作品は、応募しないでください。各賞の譲渡、転売はできません。



500pt Present!

新規会員登録者さま全員に500ポイント進呈中！お買い物時に1ポイント=1円としてご使用いただけます。

Pick up

ピックアップ商品

Multi Palette

→IBFオリジナル
36 colors multi palette

NYMA、IBF加盟校でも教材として採用されている36色入りのフェイスカラーパレットです。

アイシャドウ30色チーク6色で構成されており、ナチュラルメイクからクリエイティブメイクまで使用用途を限定せずマルチに使えるパレット。

発色もよく、コンパクトなので撮影などヘアメイク現場でもとても重宝します。

IBF以外では購入することができない商品です。

※IBF国際メイクアップアーティスト推奨教材です。



←IBFオリジナル 21 colors

【Basic palette】 【Earth Color palette】

アイシャドウ15色、チーク6色のセットは、ベーシックなカラーとポップなカラーをセットし、ナチュラルメイクにもクリエイティブメイクにも対応した【Basic palette】

どの世代でもマッチするアースカラーをセット。アイシャドウ15色、チーク6色のセットは、ブラウン系のとても使いやすい色を選択しています。

季節、年代、シチュエーションを問わずマルチに使用できる【Earth Color palette】。

コンパクトで持ち運びやすいパレットです。

※IBFメイクアップビューティセラピー講座推奨教材です。



Original Palette



User Guide

ご利用案内



旧ショップ登録者でパスワード再設定が済んでいない方は会員情報・ポイントの引継ぎができますので、
<https://www.makeshop.jp/ssl/slogin/reminder.html?db=ibfshop>
こちらのURLまたはQRコードから旧ショップ登録時のメールアドレスでパスワードの再設定をしてください。
※旧ショップで登録していて、登録時のメールアドレスが不明の方は customer@ibf-shop.com までお問合せください。



新規会員登録



IBF正会員、NYMA受講生であっても、ショップには別途会員登録が必要です。
ショップ会員限定のクーポンなどお得なメルマガ配信もございますのでぜひご登録ください。

ご購入の流れ

会員価格でのお買い物にはログインが必須となります。
IBFビューティプロショップへの会員登録をお済ませの上ご利用ください。
※ログインせずお買い物した場合は通常価格でのご提供となります。

PCからの場合



スマホからの場合





2023年2月28日発行(年4回発行)通巻87号 定価330円(税込) 発行/旧F国際美容連盟 〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9 今井ビル5F TEL:03-5928-3800 <https://www.ibi.or.jp/>

Makeup: Kumiko Kondo
Model: Dania Lechter State Artist Management
Photo: Linda Mason